

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

EIAJ TT - 3011A

円形導波管用フランジ

Flanges for Circular Waveguides

1993年9月制定

2004年2月改正

作 成

無線通信・放送標準化委員会

Technical Standardization Committee
on Radio Communications and Broadcasting Systems

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目 次

まえがき	1
1. 適用範囲	1
2. 形 名	1
2.1 第1文字	1
2.2 第2文字	1
2.3 第3文字	1
2.4 第4文字	1
3. 形状・寸法	1
4. 結合方法	1
5. 材質とフランジ全体の寸法・肉厚	2
6. 位置決めピン	2
7. 基準穴の標準はめあい	2
8. 接触面の平面度	2
9. 組 立	2
10. 入出力端口径の長軸・短軸の表示	2
11. フランジ単体	3
11.1 フランジと導波管の取付け	3
11.2 中央丸穴寸法	3
11.3 穴の位置決め	3
11.4 その他の指示	3
12. 検 査	3
12.1 項 目	3
12.2 寸 法	3
12.3 気密形フランジの気密性	3
付図1 F・LC30～46.2 形フランジ	4
付図2 F・LC30～46.2 形ガスケット	4
付図3 F・LC48～73.9 形フランジ	5
付図4 F・LC48～73.9 形ガスケット	5
付図5 F・LC76～220 形フランジ	6
付図6 F・LC76～220 形ガスケット	6
付表1 L形フランジ寸法表(F・LC30～76)	7

EIAJ TT-3011A

付表 2	L 形フランジ寸法表 (F・LC89～220)	8
付図 7	FPKC30～46.2 形フランジ(固定形式)	9
付図 8	FPKC30～46.2 形ガスケット	9
付図 9	FPKC30～46.2 形フランジ(回転形式)	10
付図 10	FPKC48～73.9 形フランジ(固定形式)	11
付図 11	FPKC48～73.9 形ガスケット	11
付図 12	FPKC48～73.9 形フランジ(回転形式)	12
付図 13	FPKC76～220 形フランジ(固定形式)	13
付図 14	FPKC76～220 形ガスケット	13
付図 15	FPKC76～220 形フランジ(回転形式)	14
付表 3	K 形フランジ寸法表 (FPKC30～76)	15
付表 4	K 形フランジ寸法表 (FPKC89～220)	17
付図 16	FPKC30 形フランジ組立構造図	19

解 説

1.	制定の目的	20
2.	制定・改正の経緯	20
3.	審議中問題となった事項	21
4.	主な改正点	21
5.	円形導波管の使い方	21
6.	円形導波管内の高次モードの発生	21
7.	高次モードの抑制例	22
8.	交差偏波保護比	24
9.	基準穴又は基準軸の直角度の図示について	25
10.	円形導波管入出力端の長軸・短軸の決め方	26
11.	審議委員	26

電子情報技術産業協会規格

円形導波管用フランジ

Flanges for Circular Waveguides

まえがき この規格は、社団法人 電子情報技術産業協会 標準化センター 無線通信・放送標準化委員会 導波管標準化グループが作成したものであり、**TSC-16**(電子情報技術産業協会規格類の作成基準)の様式によって作成した個別規格である。

1. 適用範囲 この規格は、アンテナ系、給電系及び電子装置に使用する円形導波管用のフランジについて規定する。

2. 形名 円形導波管用フランジの形名は次による。

2.1 第1文字 : F = JEITA(旧 EIAJ) 規格導波管用フランジを表す。

2.2 第2文字 : フランジの基本構造に関するものを表す。

U = 非気密形(ガスケット溝のないもの)

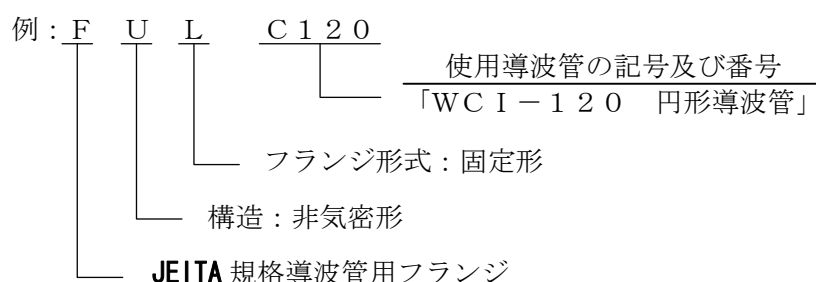
P = 気密形(ガスケット溝のあるもの)

2.3 第3文字 : 形式に関するものを表す。(付図 1 ~ 15 参照)

L = 固定形

K = 回転形

2.4 第4文字と数字 : 使用する導波管の形式を表す。



3. 形状・寸法 フランジ及びガスケットの形状・寸法は付図 1 ~ 15 及び付表 1 ~ 4 による。すべて導波管に取付けた状態で規定する。フランジは導波管に十分強固にかつ管軸に直角に取付け、結合面及び気密形のガスケット溝面は十分平らで有害な欠点があってはならない。

4. 結合方法 2 個のフランジを結合するには、L 形は付図 1, 3, 5 に示す全ての基準穴に、図 1 及び表 1 に示すピンを通して位置決めしたのち、ねじで締付ける。K 形は付図 7, 9, 10, 12, 13,